



JPX

PRIME
TOKYO

コード番号: 6369



トヨカマツ 株式会社

会社説明会

2024年7月27日

1. 現在の姿

会社概要と株主還元などについて

2. これまでの姿

実績と事業紹介について

3. これからの姿

中長期の展望について

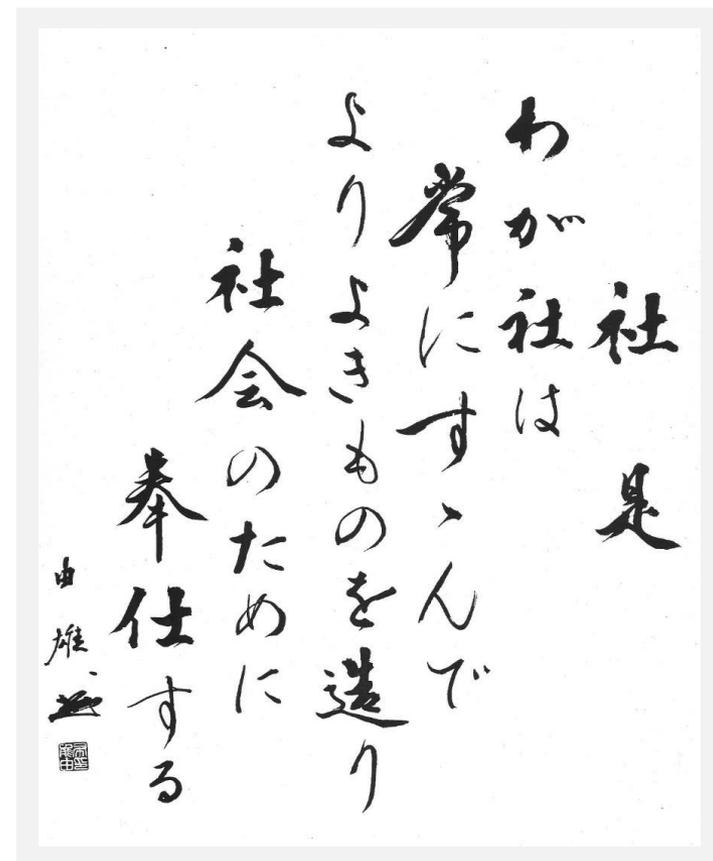
代表取締役社長 大和田 能史
(おおわだ たかし)



1. 現在の姿

創立84年目 東京証券取引所上場64年目

- 創立 1941年(昭和16年)5月
- 資本金 18,580百万円
- 売上高 53,787百万円(連結)
- 従業員数 596名(単体)
1,157名(連結)
- 株式市場 東証プライム
- 決算期 3月(連結)



主力事業の紹介

物流システム



**物流システムの企画
設計、製作、施工、販売
メンテナンス**

タンク製造



**大型タンクのEPC
(設計・調達・工事)
メンテナンス**

トヨーカネツグループの国内外ネットワーク

トヨーカネツグループ

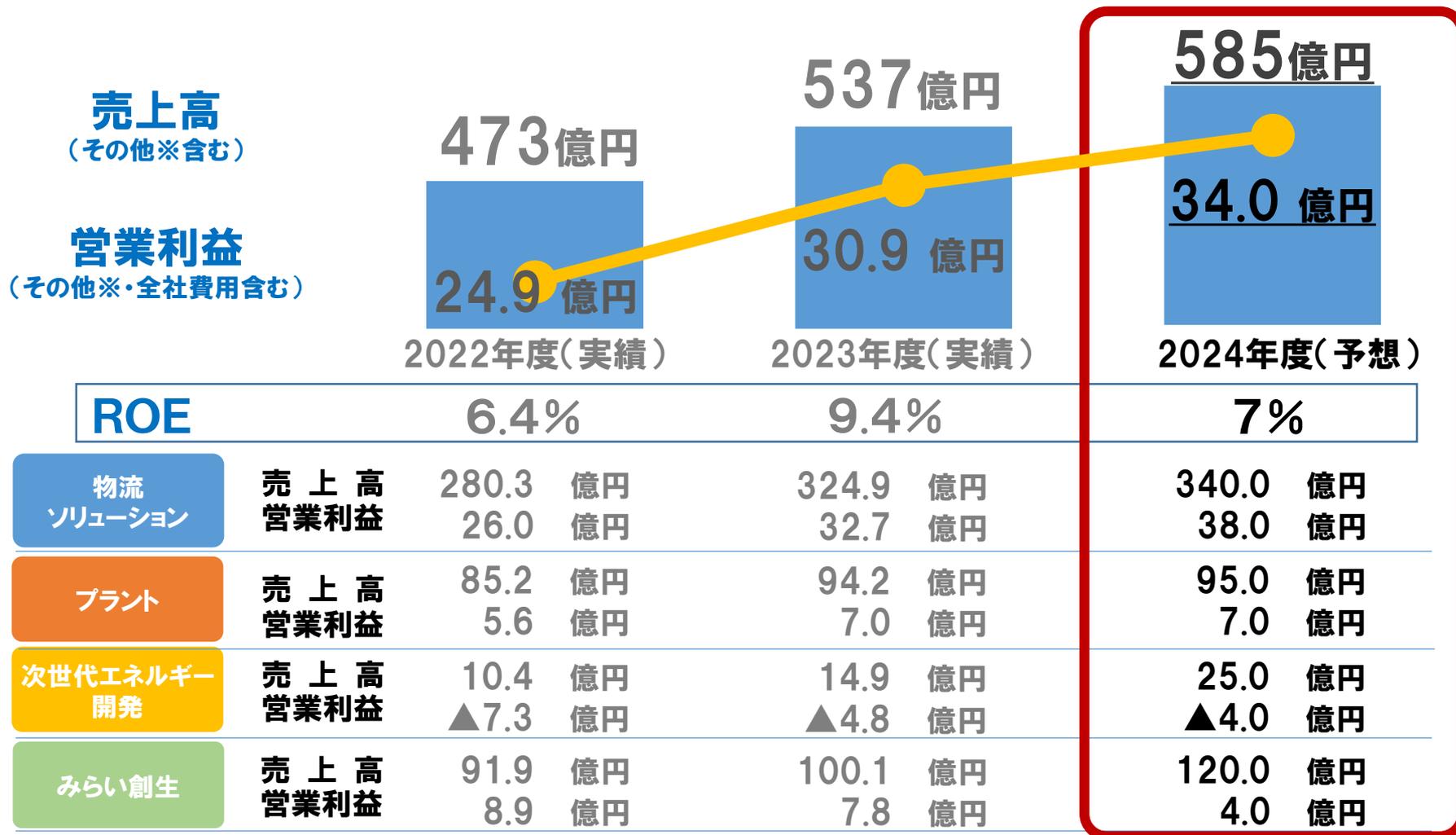
国内9社(55拠点)・海外2社

- トヨーカネツ株式会社
- トヨーコーケン株式会社
- トヨーカネツビルテック株式会社
- 環境リサーチ株式会社
- 環境計測株式会社
- TKKプラントエンジ株式会社
- 株式会社スクラムソフトウェア
- 株式会社トヨーサービスシステム
- 木本産業株式会社

- トヨーカネツ インドネシア
- トヨーカネツ マレーシア



今期(2024年度)も連続して、増収・増益の見通し
 中計最終年度 売上高585億円 営業利益34億円 ROE7%



※その他:主に不動産に係る収益です。

成長・研究開発・人材への各投資を積極的に実施

2022～2024年度(3ヵ年)累計

営業CF
約**100**億円

(参考)
減価償却費
約**30**億円

必要に応じた
資金調達

配当金
30億円以上

成長投資
研究開発
100億円規模

定常設備投資

ワーキングキャピタル

●配当性向50%以上

(2022年度配当 12.0億円)

(2023年度配当 17.8億円)

●成長投資

- ・(株)スクラムソフトウェア
- ・木本産業(株) など

●研究開発

- ・物流ソリューション製品開発
- ・大型液化水素タンク研究 など

●人材投資

- ・国内連結合計71名増(2022年度比)

●設備投資

- ・和歌山工場(BCP及び生産活動高度化)
- ・新工場の竣工(2024年度) など

●資本政策の基本方針

- 企業価値向上の為、内部留保・借入を成長投資に活用
- 自己資本比率50%以上を維持し、財務健全性を確保

●株主還元方針

- 連結配当性向:50%以上（配当下限額:年間100円/株）

ただし、大規模な資金需要が発生した場合にはこの限りではありません。
 連結総還元性向は設定せず、業績動向などにより機動的に対応いたします。

- 適用期間:本中計期間(2022年度～2024年度)

	2020年度※	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (予測)
1株当たり 年間配当金	115円	145円	147円	229円	163円
連結配当性向	54.1%	50.8%	50.1%	50.2%	50.3%

※2020年度の期末配当の内訳:普通配当110円、創立80周年記念配当5円

● 前期の主な施策と結果 (2024年3月末時点)

➤ 株主総利回り(TSR) **261.8%**

➤ 自己株式の取得 **普通株式35.3万株(1,199百万円)**

※取締役会決議に基づく取得分

➤ 自己株式の消却 **普通株式100.0万株**

➤ 政策保有株式の売却 **連結純資産比率10.0%に縮小**

※売却額1,325百万円

● 株価及びPBR向上に向けた取組み方針

① 事業成長と収益性の向上 **3期連続 増収増益へ**

② 資本・財務戦略の強化 **配当性向50%以上を堅持など**

③ 積極的なIR活動の実践 **機関・個人投資家へ接点強化**

2. これまでの姿

物流システムとタンク製造で国内・海外に実績多数

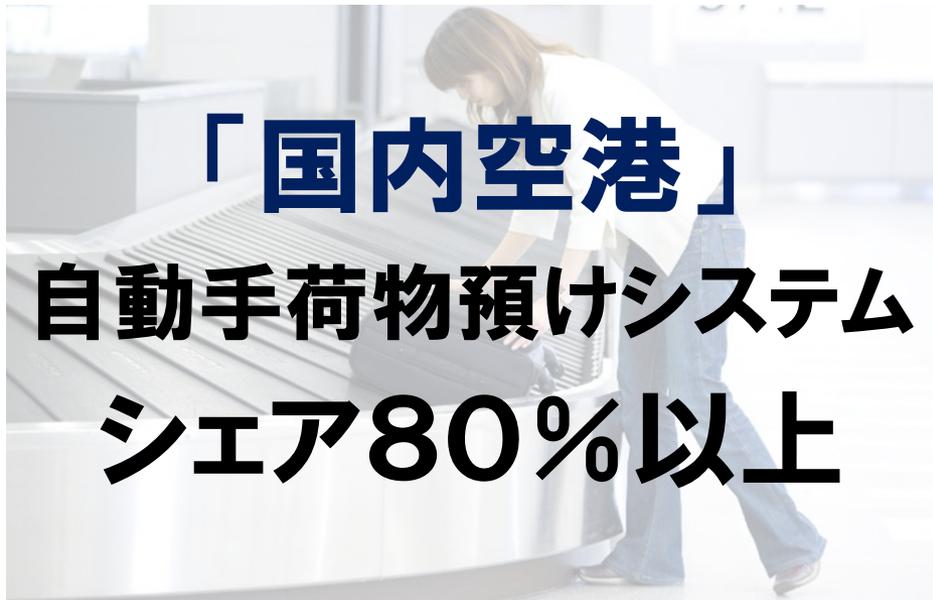
ボイラー製造から始まり1955年に
2事業に経営資源を集約





「生協」

物流センターシステム
シェア70%以上



「国内空港」

自動手荷物預けシステム
シェア80%以上



「Eコマース」

多品種 大量仕分け
リードタイムの短縮



「3PL」

高機能 高性能マテハン
省人化の実現

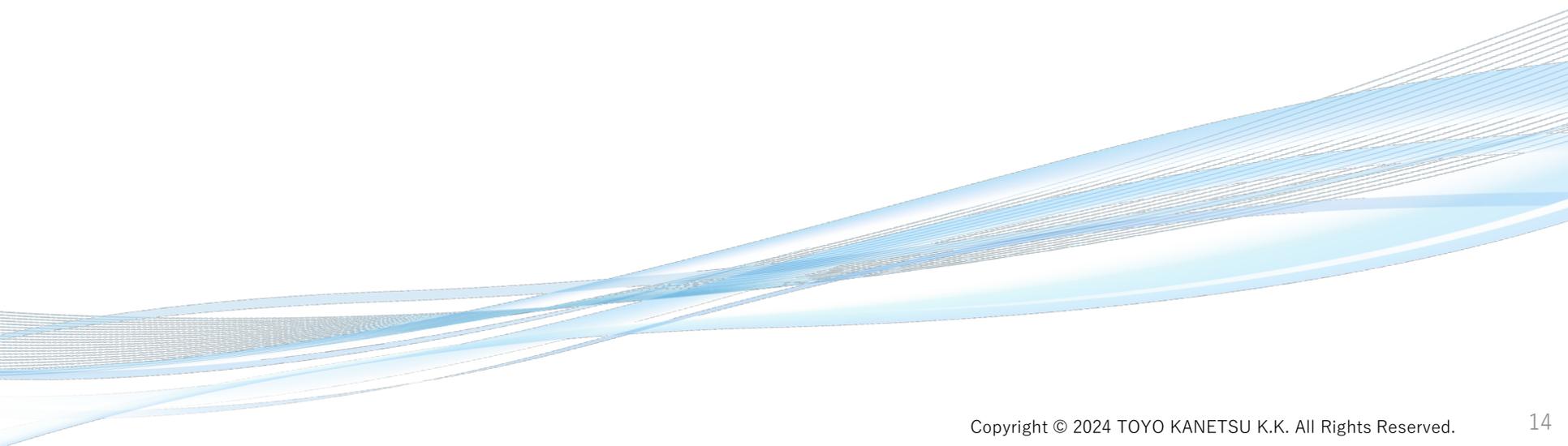
「世界第2位」
国内外納入実績
5,700基以上

「大型タンク」
各種形状
23万キロリットル

「極低温貯蔵」
液化LNG
マイナス162℃

「次世代エネルギー」
アンモニア・CO₂
大型液化水素タンク
(マイナス253℃)

3. これからの姿



中期経営計画(2022~2024年度)を推進中

経営ビジョン

革新的な技術と実行力で、
社会課題を解決する
「ソリューションイノベーター」

スローガン

ACTION FOR THE FUTURE
期待を超える実行力で、未来を支えるチカラになる

物流ソリューション

ACTION FOR
NEXT LOGISTICS

プラント

ACTION FOR
INFRASTRUCTURE

次世代エネルギー開発

ACTION FOR
NEXT ENERGY

みらい創生

ACTION FOR
SUSTAINABILITY

中期基本方針

未来に向けた成長路線を確立する

重要な経営課題を掲げ、未来の社会と共生する

10のマテリアリティと対応するSDGs目標

事業を通して解決し 価値向上を目指す課題

1. 気候変動による事業環境変化への対応
2. 国内人口減少への対応



物流ソリューション
労働人口減少



プラント・次世代エネルギー
カーボンニュートラル



みらい創生
生活環境リスク



持続的な企業価値向上 のために取組む課題

3. 人材の育成と活用
4. 新技術の開発と活用
5. パートナー企業との協業推進
6. 生産性の向上



これらの 前提となる課題

7. 安全衛生の確保
8. コンプライアンス・ガバナンスの堅持
9. リスクマネジメントの高度化
10. 積極的なチャレンジやスピード感がある企業風土への改革



気候変動に対する環境投資を様々な形で推進

●カーボンニュートラル宣言

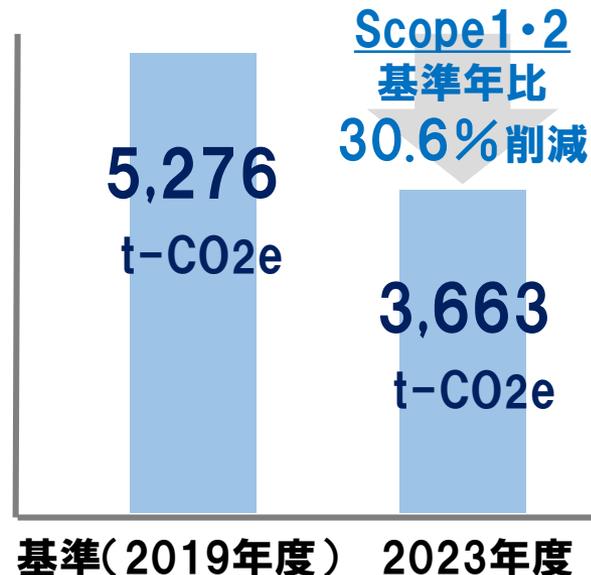
「2050年までにカーボンニュートラルを達成」

「2030年までに2019年度対比で50%に削減」

※削減対象GHG(温室効果ガス):単体及び連結子会社における「Scope1排出量+Scope2排出量」

●環境に関する取り組み

- 太陽光発電設置(トヨーコーケン(株)山梨事業所)
- 専門組織(環境グループ)の設置
- 環境系イニシアティブへの賛同・参加



トヨカネツが展開する4つの事業セグメント

物流システム

物流ソリューション 事業



生協・空港・EC
メーカーなどの
物流システム

タンク

プラント 事業



国内製油所などの
タンク
メンテナンス

次世代エネルギー 開発事業



LNG、アンモニア
CO₂、水素など
タンク製造・研究

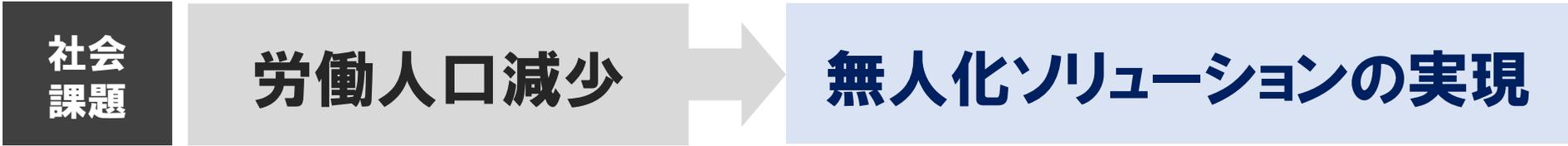
新規開発

みらい創生 事業



アスベスト検査、
環境計測機器保守、
産業機械・建築

物流ソリューション事業の展望



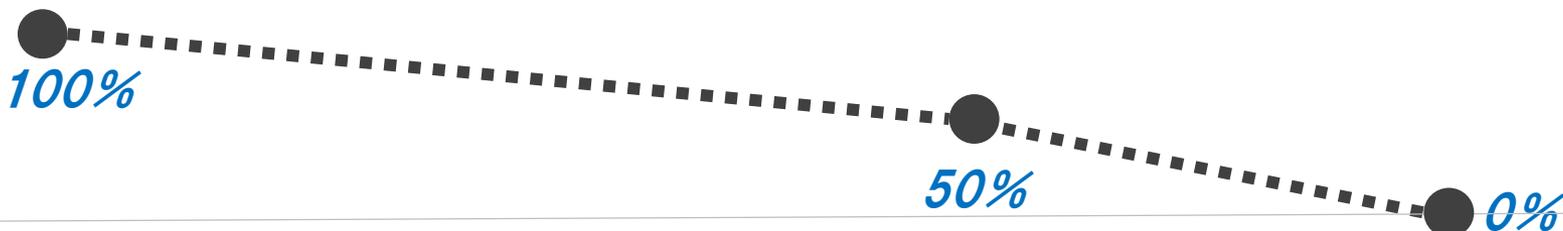
※出典：総務省「生産年齢人口（15-64才）推計」

社会課題

カーボン
ニュートラル

クリーンエネルギー社会
の実現

脱炭素



2013年

2023年

2030年

2050年

エネルギーの出現

エネルギーの変化に次々と対応

石油・LNGなど

アンモニア・MCH (メチルシクロヘキサン): 水素キャリアのひとつ。

CO₂タンク

水素タンク

タンクメンテナンス

既存タンクのメンテナンス

アンモニア・MCH
CO₂(CCS/CCUS)

開発

受注

建設

大型液化水素

基礎技術

実証実験

建設

みらい創生事業の展望

社会課題

生活環境リスク

多様でサステナブルな生活環境の実現

社会情勢

気候変動による災害の甚大化・常態化
安心・安全な生活環境への関心

2017年

2024年

2030年

2050年

事業成長シナリオ

「第3の柱」確立

防災 + 環境

環境 + 防災・減災領域M&A

アスベスト検査・環境調査・分析
(防災・減災/生物多様性/環境保全)

産業機械・建築

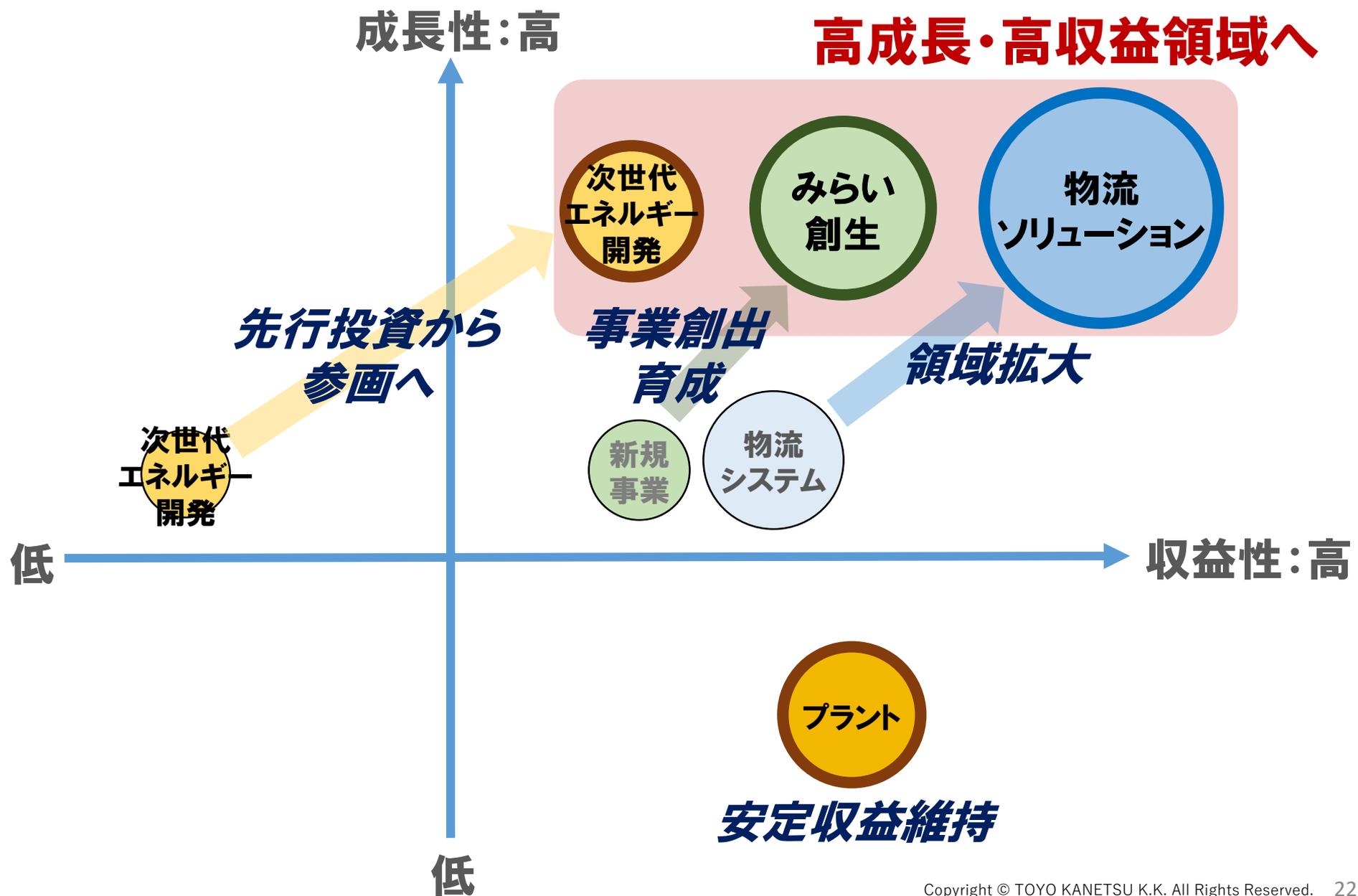
本格着手

環境

事業の形成

シナジー創出 (M&A)

物流・タンクに並ぶ「第3の柱」へ
(成長ポテンシャル維持・拡大)



トヨカネツの“ACTION”を応援ください



PLANT
プラント事業

LOGISTICS SOLUTIONS
物流ソリューション事業

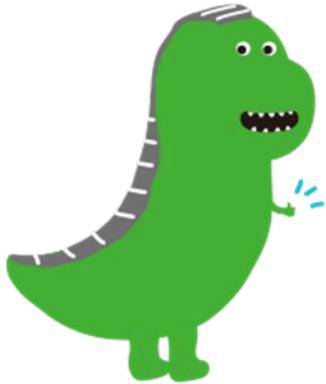
NEXT-GENERATION ENERGY DEVELOPMENT
次世代エネルギー開発事業

BUSINESS INNOVATION
みらい創生事業

ACTION FOR THE FUTURE

期待を超える実行力で、未来を支えるチカラになる

当資料に関するお問い合わせ先



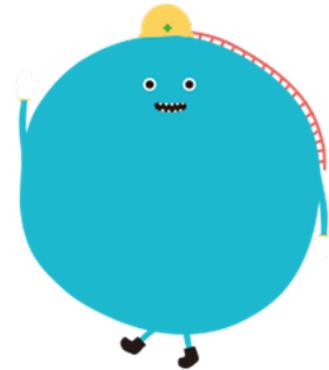
トーヨーカネツ株式会社

コーポレート本部 経営企画部

TEL:03-5857-3333 FAX:03-5857-3170

<https://www.toyokanetsu.co.jp/>

コード番号:6369 東証プライム



注意事項

本資料に記載されている計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、種々の前提に基づき策定したものであり、将来の業績等を保証するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。